

様式第7号（第7条関係）

公の施設事業報告
（令和元年度分）

令和2年5月27日

下妻市長 様

所在地	下妻市本城町三
名称	下妻市自治振興公
代表者氏名	理事長 齋藤
電話番号	0296-43

下妻市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第11条の規定により、次のとおり令和元年度事業報告書を提出します。

1 公の施設の名称

小貝川ふれあい公園ネイチャーセンター及び有料公園施設

2 管理業務の実施状況

管理運営に関する基本協定書に基づき、関係法令及び条例の規定を遵守することはもとより、公園を利用する幅広い年齢層の方々にとって「四季を通じて親しめる公園」となるよう、自然や動植物をテーマとした自主企画展や各種団体との共催企画展を積極的に実施した。

特に、自然環境保持の啓発活動に取り組み、環境に配慮した事業運営に重点を置き、効率的な施設の維持管理を総合的に推進した。

【(1)ネイチャーセンター】

※感染症対策により館内展示休止:3月11日(水)から

①年間利用状況

年間入館者数	70,246人
--------	---------

②維持管理

管理事務所とギャラリー(常設展示場及び企画展示場)を兼ねた施設であることから諸設備の点検を定期的実施するとともに、ギャラリー内の通路を拡張するため展示スペースを工夫し来館者の安全確保に努めた。そのほか定期巡回を実施し、建物周辺や館内の危険箇所等の早期発見に努めた。

③施設の運営

ア)自主企画展

ネイチャーセンター所蔵の「昆虫標本」を展示し、「世界の昆虫標本展」を2回開催した。
また、夏休みには特別企画展として「金魚アクアリウム展」を実施し、その後「ネイチャーセンターフォトコンテスト」を開催し、動物愛護並びに自然愛護の啓発や意識向上に努めた。

催事名	期間
世界の昆虫標本展	昨年度～ 4/14(日)
夏休み特別企画展「金魚アクアリウム展」	7/20(土)～ 9/ 1(日)
ネイチャーセンターフォトコンテスト作品展	11/ 9(土)～ 12/15(日)
世界の昆虫標本展	1/ 4(土)～ 3/10(火)

イ) 共催企画展

自然や動植物に関する共催企画展を開催し、地域の各団体の活動を発表する場を提供するとともに啓発活動を行い、ギャラリーを有効活用した。

催事名	期間	共催団体名
春の山野草展	4/19(金)～ 4/21(日)	下妻市自然愛護協会
写真展 「各々のレンズがとらえた自然」	4/27(土)～ 5/16(木)	悠遊写楽クラブ
写真展 「めぐりくる花の季節」	5/17(金)～ 6/2(日)	フォトクラブ光風会 フォトクラブ ^{あつみ} 歩
押し花展 「身近な自然・景色・風景」	5/17(金)～ 6/2(日)	押し花サークル
水彩画展 「身近な花と自然の風景」	9/7(土)～ 9/16(月・祝)	下妻水彩画会
秋の山野草展	9/27(金)～ 9/29(日)	下妻市自然愛護協会

④防火管理

電気工作物の月次点検、並びに消防用設備等点検を実施し、恒常的に施設の安全確認や避難通路の点検等を行った。

⑤開館時間の延長等

夏季期間(4～10月)は、開館時間を16時30分と30分延長し、ポピー開花期間(5～6月)においては休館日を設けず、さらに土日祝日は開館時間を適宜延長した。

また、冬季期間(11～3月)は、開館時間を30分早めて9時からとし、一年を通して9時から開館することで利用者の利便性向上と利用促進に努めた。

⑥意見収集

お客様からのご意見・ご要望等を広く収集し、改善・対応策を協議した。対応可能なものについては迅速に対応し、利便性向上に努めた。

また、対応が困難なもの等については市主管課と情報を共有し協議することで、今後の改善策を検討した。

⑦その他

「下妻市公式ウェブサイト」により公園の施設利用案内や花畑の開花状況等を随時更新し、最新情報を広く周知し、集客と利便性向上に努めた。

【(2)有料公園施設】

①パークゴルフ場 *4コース:36ホール

*台風における冠水被害のため利用休止:10月13日(日)から
コース毎に整備を完了し、順次利用を再開した。

・さくらコース:10月22日(火)から

・ひばりコース:10月26日(土)から

・オオムラサキ・ポピーコース:10月29日(火)から

*感染症対策により利用休止:3月14日(土)から

ア)年間利用状況

年間利用者数	年間利用料(市納付額)
17,268人	3,644,500円

【性別内訳】

男性	女性
10,405人	6,863人
60.3%	39.7%

【地域別内訳】

市内	市外	県外
5,761人	10,122人	1,385人
33.4%	58.6%	8.0%

イ)維持管理

適宜巡回し、パークゴルフ場内の不具合や危険箇所等を早期発見・修繕し、利用者の安全確保に努めた。さらに、貸出用具(クラブ・ボール)の消毒や入念な清掃を実施し、衛生上も安心して利用できるよう努めた。

ウ)利用促進

ネイチャーセンター主催のパークゴルフ大会を実施し、さらに「下妻市パークゴルフ協会」主催の各大会についてはネイチャーセンターが後援し、円滑な大会運営に協力した。

また、会員券(年間・半年間)や6回綴り回数券の割引周知や、茨城県民の日に県内在住者に無料で開放するなどの利用サービスを展開した。

市内各施設にパンフレットの配布協力を依頼し、さらに公園内に利用案内看板を設置する等広くPRを行い、利用促進に努めた。

【主催大会】

大会名	日時	参加者数
パークゴルフネイチャーセンター杯	6/12(水)	76人
パークゴルフネイチャーセンター杯 *台風被害により中止	10/17(木)	—

【主な後援大会】

大会名	日時
月例会	4/17(水)、5/15(水)、6/19(水)、 7/24(水)、8/21(水)、9/11(水)、 10/9(水)、11/2(水)、1/22(水)、 2/19(水)
月例会以外の協会杯	7/10(水)、12/11(水)、 12/20(金)、1/17(金)
男女ペアマッチ大会	4/3(水)、10/2(水)
茨城県下妻大会	5/27(月)
下妻市体育協会杯市民パークゴルフ大会	6/26(水)
下妻オープンパークゴルフ大会	9/4(水)

協会男女ペアマッチ大会	10/2(水)
市長杯市民パークゴルフ大会	11/7(木)

②バーベキュー場 * 炉:10基

* 台風における冠水被害のため利用休止:10月13日(日)~19日(土)

* 感染症対策により利用休止:3月14日(土)から

ア) 年間利用状況

年間利用者数	年間利用料(市納付額)
2,348人	335,900円

【地域別内訳】

市 内	市 外	県 外
774人	1,383人	191人
33.0%	58.9%	8.1%

イ) 維持管理

適宜巡回し設備の点検を行い、不具合や危険箇所等を早期発見・修繕し、利用者の安全確保に努めた。

また、炉などの修繕、及び冠水後の備え付け設備等の消毒、さらに貸出用具(網・鉄板等)の入念な清掃を実施し、衛生上も安心して利用できるよう努めた。

ウ) 利用促進

市内各施設にパンフレットの配布協力を依頼し、さらに公園内に利用案内看板を設置する等広くPRを行い、利用促進に努めた。

【(3)こども広場】

①維持管理

遊具等の巡視点検、及びゴミの回収を毎日実施し、故障や危険箇所の早期発見に努め、市主管課と連携し、整備・改修等の処置を行った。

②安全管理

遊具等の故障や危険箇所については市主管課と連携し、「使用中止」等の注意喚起をするなどし、修理・改修等を行うことで利用者の安全確保に努めた。

【(4)駐車場(中流)】

①維持管理

巡回を毎日実施し、ゴミの回収等を行い環境美化に努めた。

【(5)屋外ふれあいトイレ】

①維持管理

上流及び下流トイレの清掃を委託し、1日2回の清掃を行った。

②安全管理

巡回の際には清掃及び施設の状況を確認し、設備の不具合等の早期発見・対応に努めた。また、故障の際等は迅速に対応し、利用者が不便をきたすことのないよう努めた。

【(6)レンタサイクル】 *自転車:12台(大人・子供用各6台)

*台風における冠水被害のため利用休止:10月13日(日)~19日(土)

*感染症対策により利用休止:3月14日(土)から

ア)年間利用状況

年間利用台数	年間利用料(市納付額)
237台	23,700円

①維持管理

週1回の点検清掃を実施し、さらに適宜コースの巡回を行い、サイクリングロードマップの情報を適宜更新し、利便性向上に努めた。

②安全管理

年1回の専門業者(市内:篠崎輪業)による保守点検の際にはTSマーク(※1)付帯保険(※2)へ加入し、補償に備えた。また、定期的にサイクリングロードの巡視を行い、利用者の安全確保にも努めた。

※1 TSマーク:自転車安全整備士が点検確認した普通自転車に貼付されるもの。

※2 付帯保険:傷害保険と賠償責任保険、被害者見舞金(赤色TSマークのみ)が付いている

保障内容:自転車1台 年額2千円(整備費込)

傷害補償(搭乗者):死亡又は重度後遺障害 100万円

入院15日以上 一律 10万円

賠償責任補償(第三者):限度額 1億円

被害者見舞金(搭乗者・第三者):一律 10万円

【(7)自然環境保全】

①総合学習の支援

小中学生の総合学習カリキュラム(※3)における調査情報の提供・説明に協力した。

※3 総合学習カリキュラム:自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てるために児童・生徒の発達段階や学習能力に応じて、順序だてて編成した教育内容の計画。

【支援内容】

オオムラサキの生態、保護活動について
小貝川ふれあい公園の生い立ちについて
ネイチャーセンター常設展示水槽内の魚について

②オオムラサキの保護

孵化後は飼育小屋で成虫への給餌を行い、「オオムラサキと森の文化の会」と協力し、保護・育成に努めた。

また、希望者には説明を行い、啓発活動にも努めた。

【(8)小貝川ふれあい公園ネイチャーセンター管理経費の収支状況】

公の施設の管理に係る収支状況報告書(令和元年度)				
単位:円				
		予算額	決算額	比較
収入項目	指定管理委託料	32,115,000	32,115,000	0
収入合計(A)		32,115,000	32,115,000	0
支出項目	職員給与等	10,602,000	10,306,677	295,323
	報償費	30,000	30,000	0
	旅費	1,000	0	1,000
	消耗品費	1,233,000	1,262,259	△29,259
	燃料費	20,000	9,628	10,372
	食糧費	1,000	0	1,000
	被服費	29,000	28,818	182
	印刷製本費	485,000	441,820	43,180
	光熱水費	4,440,000	4,228,857	211,143
	修繕料	525,000	302,191	222,809
	通信運搬費	174,000	214,536	△40,536
	手数料	549,000	487,109	61,891
	保険料	75,000	77,250	△2,250
	事業費	174,000	155,045	18,955
委託管理費	10,601,000	10,086,672	514,328	

維持管理費	1,509,000	1,509,814	△814
使用料	396,000	393,984	2,016
負担金	30,000	30,000	0
公租公課費	41,000	30,500	10,500
消費税	1,200,000	1,149,432	50,568
翌年度へ繰越	0	1,370,408	△1,370,408
支出合計(B)	32,115,000	32,115,000	0
収支(A)-(B)	0	0	0